

大阪大学経営協議会（平成25年度 第2回）議事要旨

日 時 平成25年9月10日（火）14時15分～15時45分

場 所 三井ガーデンホテル大阪淀屋橋 地下1階会議室C・D

出席者 平野総長（議長）

大竹（伸）、川島、河田、川名、小林、近藤、佐藤、城野、手代木、野村、森
恵比須、東島、馬場、相本、大竹（文）、尾山、岡村、木村、掛下、金田、八木、
森崎 各委員

欠席者 角、竹内、中村 各委員

議事に先立ち、議長（総長）から新任の学内委員の紹介があった後、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。

続いて、前回（6月18日開催）の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

【議事】

1 新役員体制等について

平野総長から、資料3に基づき、平成25年8月26日以降の新役員体制について報告があった。

2 重要財産（土地・建物）の処分について

大竹理事から、資料4に基づき、本学が所有する売布宿舎の土地、建物を処分することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 中期計画の変更について

恵比須理事から、資料5に基づき、議事2で承認された売布宿舎の処分に伴う中期計画の変更について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 平成26年度概算要求事項について

恵比須理事から、資料6に基づき、文部科学省から財務省に提出された平成26年度概算要求の概要について説明があった。

5 役員退職手当に係る業績勘案率について

平野総長から、平成25年8月25日をもって任期満了となった役員の退職手当に係る

業績勘案率について、文部科学省国立大学法人評価委員会が行った業績評価及び役員としての業務に対する貢献度等を総合的に勘案したうえで決定したい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

6 理事の報酬額について

平野総長から、平成25年8月26日付けで新たに任命された理事の報酬額について、前任の理事と同クラスの報酬額としたい旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 教職員の給与等について

尾山理事から、資料7に基づき、教職員の給与等に関し、①55歳を超える職員について、国家公務員に依拠して昇給抑制の措置を講ずること、②一般職時間給表(二)の時間給額を改正すること、③早期退職のインセンティブ拡大について、国家公務員の制度に依拠した「応募認定退職制度」を導入するほか、「勸奨退職」の廃止、及び「早期定年退職制度」の適用要件を見直すことについて、それぞれ説明があり、審議の結果、これを承認した。

【意見交換】

1 大阪大学のブランド戦略について

岡村理事から、資料8に基づき、大阪大学のブランド戦略について説明があった後、意見交換を行い、学外委員から次のような意見があった。

- ・ 都心に大学を戻すことを真剣に検討すべきではないか。現在の立地では、遠くはなくとも、「大阪の大学」というイメージを持つことは難しい。また、今後人口が減少し、街がコンパクト化していく時代になることも考慮しなければならない。
まだ用途の決定していない梅田北ヤード(大阪駅北地区)などの土地に、移転できるものから移転できるよう、働きかけてみる価値はあるのではないか。
- ・ ポジティブワード(資料8のP.1)に「適塾」が入っていない。同志社を舞台とした「八重の桜」のように、適塾と大阪大学の繋がりが世間に認識されるようなテレビドラマ制作を検討してはどうか。ブランド戦略の中心の一つとして、適塾をもっと全面に押し出すべき。
- ・ 世界の中で大阪大学の認知度を増すため、阪大ロゴに、日本語だけでなく英語を混ぜてはどうか。また、各部局等が実施する国際会議、フェア等を取りまとめて広報することも必要。
- ・ 「22世紀に輝く」では、21世紀はどうかという見方もある。手の届く印象のあるフレーズの検討も必要ではないか。
- ・ ブランドを確立することは難しいが、まずは、所属する人間がそのブランドに誇りを持つことが大事。例えば、プレゼン資料は必ず決められたテンプレートを使うなど、統一されたカラー、ロゴを使い続けなければならない。
- ・ 研究型総合大学というブランドベネフィットを活かし、ノーベル賞を獲得できる人材を育成あるいは招へいすることが、何よりもアピールになるのではないか。

- ・ 世界ではあまり認知されていない「関西」という広域的な地域をプロモートするにあたっては、「はなやか関西」という共通のコンセプトのもと情報発信を行っている。複数の組織を有する大阪大学も同様のそういったものが必要ではないか。また、過去を含めた個々の研究成果を、大阪大学全体の成果として対外的にしっかりアピールすることも重要。
- ・ ブランド戦略を進めるにあたっては、女性の教職員や学生の積極的な活用や、電通など広告代理店の利用を検討してはどうか。
- ・ ブランドを発信する際には、バックボーンはしっかりと持ったうえで、対象の違いに応じたアピールの仕方を準備しておく必要もある。
- ・ 郊外にあるからこそキャンパス拡大の余地もあり、今ある3つのキャンパスの有効活用を図ってはどうか。また、他の国立大学では例のない小児病院の併設も検討してみてもどうか。

【その他】

1 次回経営協議会の開催予定について

平成25年度第3回の本協議会について、平成25年11月25日に開催する旨の報告があった。

(以 上)